2021 年５月 14 日
名古屋柳城短期大学附属
三好丘聖マーガレット幼稚園
林　知子

～コロナ渦の中で生きるこどもたち～

今はコロナウィルス感染拡大と共に、外に出て身体を思いっきり動かして遊ぶことが難しい現状です。大人だけでなく子どももストレスを経験し、不安になったり、怖いと思ったりイライラが高じて様々な形でその兆候が出てきていることがあります。そういうマイナスな感情、ネガティブな感情が生じた時に、子どもは感情の立て直しをはかろうとしますが、年齢が小さければ小さいほど自分自身でうまく立て直しができません。そこで、誰かに立て直してもらおうと考え、親御さんや家庭の中にいる大人にくっついていて、その人たちから「もう大丈夫だよ」という安心感を与えてもらおうと働きかけます。この「安心感」というものがしっかりと経験されていれば心の健康な状態を維持できるといわれています。重要なのは、つらい状況の中で嫌な気持ちを持った時に、嫌な気持ちをきちんと立て直してもらえるという「安心感」です。安心した子どもは、気持ちを切り替えて次の行動に移したり、他の事柄に気持ちを向けていくようになります。もちろん個人差はあります。気持ちの切り替えがすぐにできる子もいれば、なかなか気持ちの切り替えができない子もいます。子どもがどのことについて納得がいかないか、根本的な問題を解決できるようにしていくと、少しずつ気持ちの切り替えが早くなっていくと思います。

その為に・・・
子どもが持った興味・関心を大人も共有してみてください。

そして・・・
興味・関心を持ったことを話題にして会話を交わしてみたり、表情でやりとりをしてみたりしてみてください。

そうすると・・・
言葉で伝える面白さや楽しさを感じ、自分の思いを表現する力がついていくでしょう。

また・・・
子どもの想像の世界は無限大であることを覚えておいてください。

なぜか・・・
室内で遊んでいても、子ども達の頭の中で、空想や想像は果てしなく広がっています。ごっこ遊び、ふり遊びなどを通して、いろいろな大切な心の要素を発達させています。

ぜひ・・・
大人も子どもの空想や想像の世界に入り込んで楽しんでください。

すると・・・
今までになかった新たな親子の関係が作れるかもしれません。素敵な遊びを親子で楽しんでください

RS ウィルスってなぁに？

RS ウィルスによる呼吸器の感染症です。２歳までにほぼ１００％の人が１度は感染するとされています。

主な感染経路

① 飛沫感染・・感染者の「くしゃみや咳」と一緒に飛び出した RS ウィルスを吸い込むことにより感染します。

② 接触感染・・感染者と直接、濃厚に接触した場合や、ウィルスの付着したおもちゃやコップ、ドアノブなどに触れたり、なめたりすることによっウィルスが目や咽頭（のど）、花の粘膜に付着して感染します。

潜伏期は約４～６日

約 4～6 日の潜伏期後に鼻水、３８～３９℃の発熱など、風邪に似た症状が現れます。

発症

鼻水・３８～３９℃の発熱が数日間続いた後、咳が見られるようになります。症状は通常、約７～１２日で軽快します。

軽快

軽快後も 1～3 週間はウィルスの排出は続く為、予防に努めます。

＊RS ウィルスは繰り返し感染しますが、徐々に免疫ができて、軽い症状で済むことが多くなります。
＊初めてかかった乳幼児の１/３は、重症化して細気管支炎や肺炎に進展する場合もあり、喘息（ゼイゼイ、ヒュウヒュウという呼吸音）や陥没呼吸（息を吸い込むとき胸の一部が陥没する）、呼吸困難がみられることがあります。
＊特に６ヶ月未満の乳児は重症化しやすいことが分かっています。また、1 歳以下の乳児では中耳炎の合併がよくみられます。

普段と違う姿がみられたら、重症化する前に早めの対応をしていきましょう。

《子育て相談》

自分の子育てはこれでいいのかな？と不安に思われた時、こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしゃいませんか？保育経験者がお話しさせていただきます。
お電話で予約していただき、ご都合の良い日を決めさせていただきます。
TEL　０５６１－３６－８３７３　　お電話お待ちしています